

2018年3月期 第3四半期

決算の概要

2018年2月8日



- ✓ 基本的に連結ベースで対前3Qとの増減につき解説

主要数値の実績と第3四半期進捗率

【連結】

✓ 第3四半期の売上総利益、営業利益、経常利益、四半期純利益がいずれも昨年度に続き最高益を更新

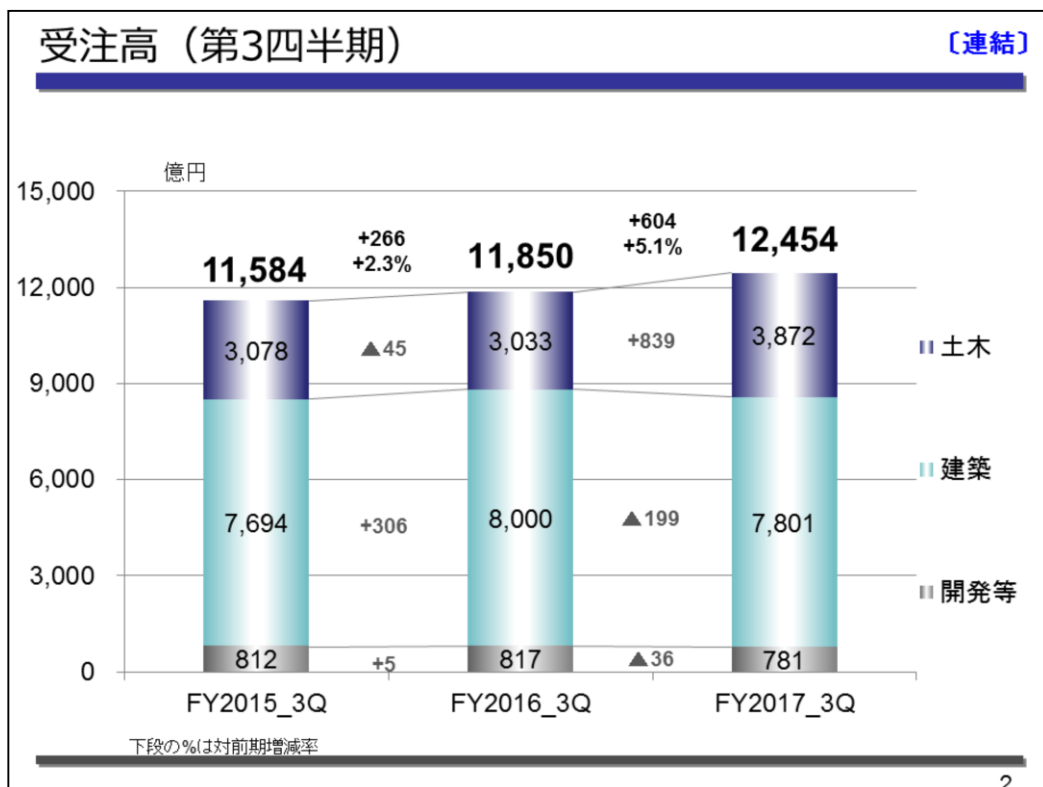
(億円)

	FY2016 3Q 実績	FY2017 3Q 実績	増減	FY2017 予想	3Q進捗率 (対通期予想)
受注高	11,850	12,454	604	16,300	76.4%
売上高	10,190	10,830	640	15,800	68.5%
売上総利益	1,642 16.1%	1,744 16.1%	102 ±0.0Pt	2,250 14.2%	77.5%
営業利益	1,044 10.2%	1,147 10.6%	103 +0.4Pt	1,400 8.9%	81.9%
経常利益	1,096 10.8%	1,176 10.9%	80 +0.1Pt	1,410 8.9%	83.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	767 7.5%	810 7.5%	43 ±0.0Pt	970 6.1%	83.5%
1株当たり 四半期純利益(円)※	331.82	357.63	25.81	429.48	83.3%

※2017年10月1日付で当社株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定している

1

✓ 当第3四半期の業績は、前期の実績に対し増収・増益となり、利益項目はいずれも昨年度に続き最高益を更新



【土木】

〔単体〕 国内土木は民間案件の堅調な受注により増加、海外土木は前期に大型案件の契約解除があった反動により増加し、全体で増加

〔連結〕 子会社等でも増加となり、連結全体で増加

【建築】

〔単体〕 国内建築は民間案件の受注が堅調だったものの、前期に新国立競技場の受注があった反動により減少。海外建築は前期並みとなり、全体で減少

〔連結〕 子会社等では増加となったものの、連結全体で減少

【開発等】

〔単体〕 オフィスビルの販売減などにより減少

〔連結〕 子会社等では前期並みとなり、連結全体で減少

〔参考〕当第3四半期累計期間の主な受注工事〔土木〕〔単体〕

官 民	工事名称	発注者
民	中央新幹線南アルプストンネル新設(静岡工区)	東海旅客鉄道株式会社
官	平成29年度中間貯蔵(双葉2工区) 土壌貯蔵施設等工事	環境省
官	大阪市海老江下水処理場改築更新事業	海老江ウォーターリンク株式会社
民	中央新幹線第一中京圏トンネル新設(西尾工区)	東海旅客鉄道株式会社
民	南山東部土地区画整理事業 第3期債務負担工事	南山東部土地区画整理組合

官：官庁
民：民間

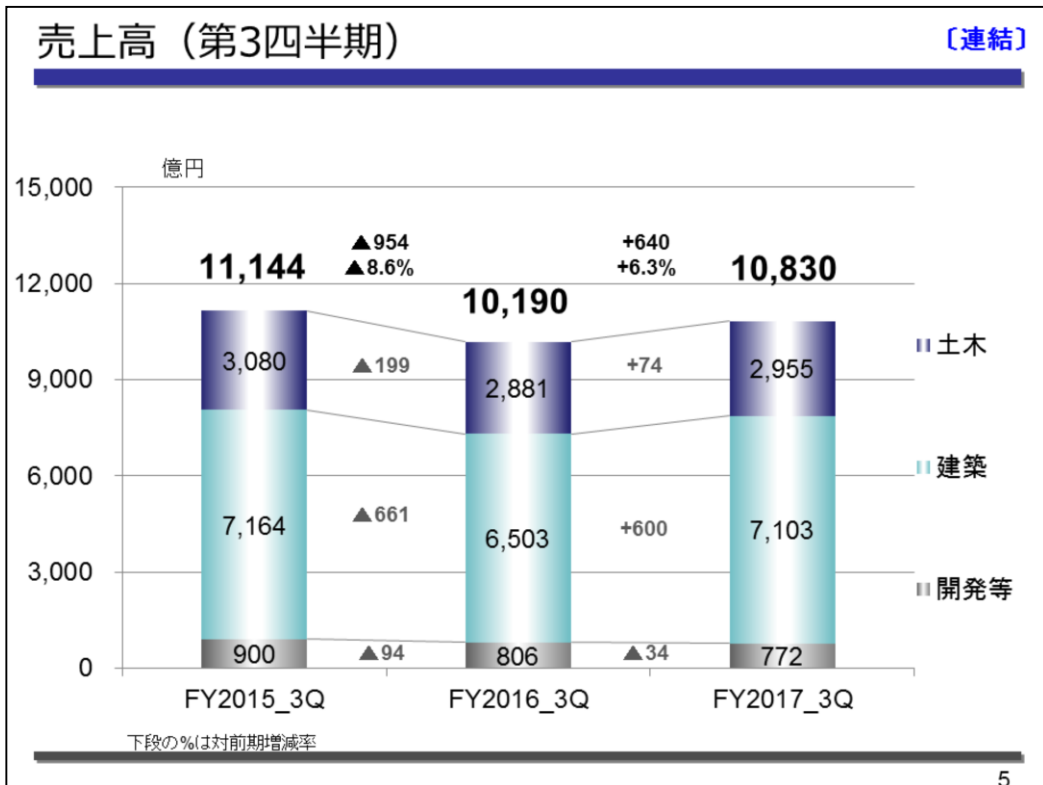
主な受注工事は記載の通り

〔参考〕当第3四半期累計期間の主な受注工事〔建築〕〔単体〕

官 民	工事名称	発注者
民	東京国際空港第2ターミナル国際線施設建設工事	日本空港ビルデング株式会社
民	(仮称)大手町1-4-2計画	大手町142特定目的会社
民	(仮称)丸の内1-3計画	株式会社みずほフィナンシャルグループ 一般社団法人全国銀行協会 三菱地所株式会社
民	銀座線銀座駅ほか2駅改良建築・電気・土木工事	東京地下鉄株式会社
官	橘処理センター建設工事	川崎市

官：官庁
民：民間

主な受注工事は記載の通り



5

【土木】

〔単体〕 国内土木で契約に設計期間が含まれる大型工事の施工が本格化していないことなどにより減収

〔連結〕 子会社等では増収となり、連結全体で増収

【建築】

〔単体〕 海外建築は前期に大型工事の追加獲得があった反動で減収となったが、国内建築では増加基調にあった手持工事が進捗し、全体では増収

〔連結〕 子会社等は減収となったが、連結全体では増収

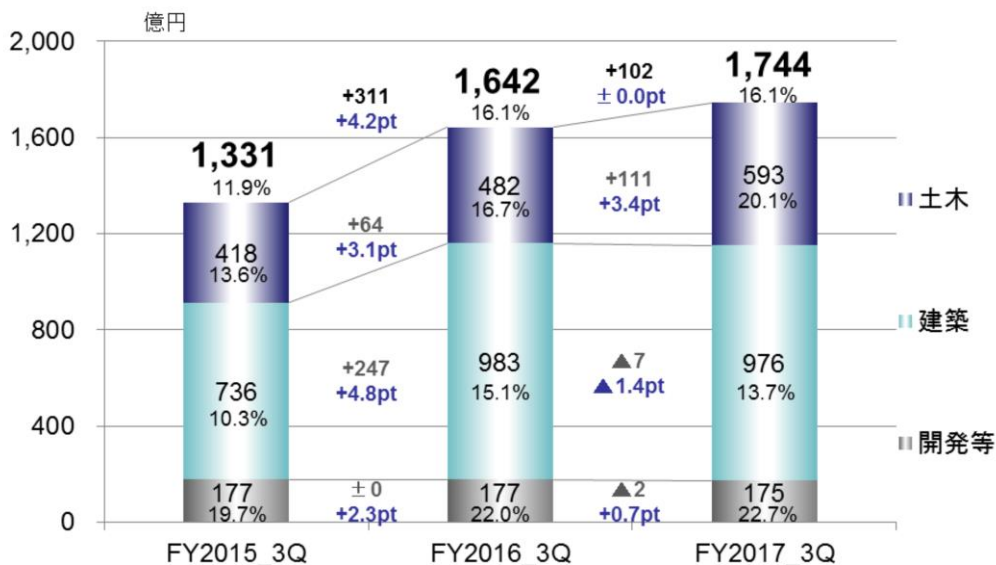
【開発等】

〔単体〕 オフィスビル販売の減少などにより減収

〔連結〕 子会社等では前期並みとなり、連結全体で減収

売上総利益（第3四半期）

〔連結〕



6

【土木】

〔単体〕 工期終盤の大型工事の追加工事獲得などにより増益

〔連結〕 子会社等も増益となり、連結全体で増益

【建築】

〔単体〕 国内建築は増収に伴い増益となったものの、海外で前期に大型工事の追加工事獲得があった反動減により、全体では前期並み

〔連結〕 子会社等も前期並みとなり、連結全体で前期並み

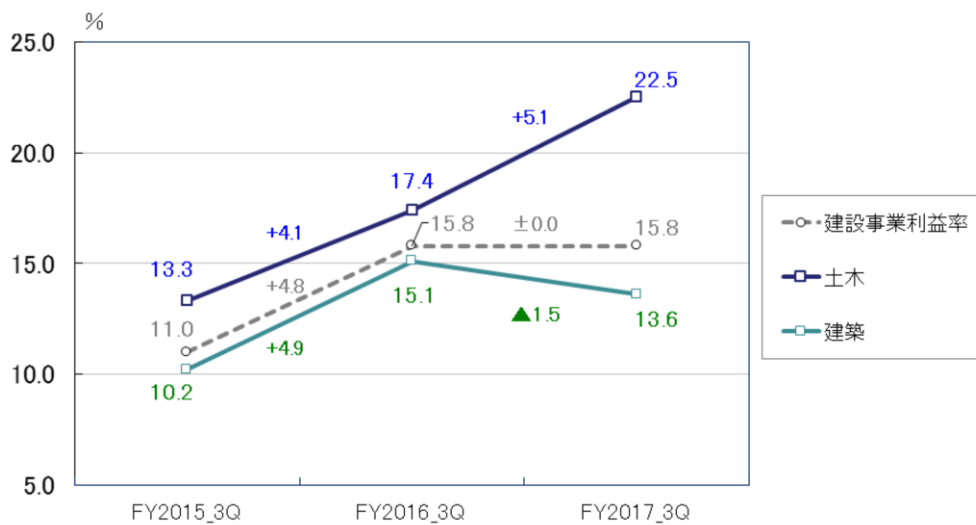
【開発等】

〔単体〕 オフィスビル販売の減収などにより減益

〔連結〕 大成有楽不動産でオフィスビルの売却などにより増益となり、連結全体では前期並み

〔参考〕単体・完成工事利益率（第3四半期）

〔単体〕



7

【土木】

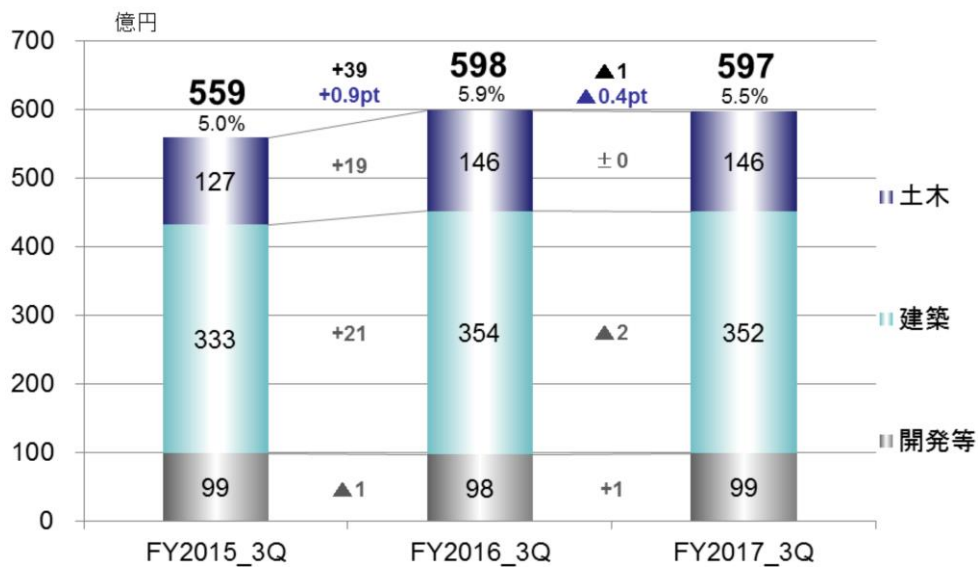
工期終盤の大型工事の追加工事獲得などにより好転

【建築】

海外で前期に大型工事の追加工事獲得があった反動減などにより悪化

販管費（第3四半期）

〔連結〕



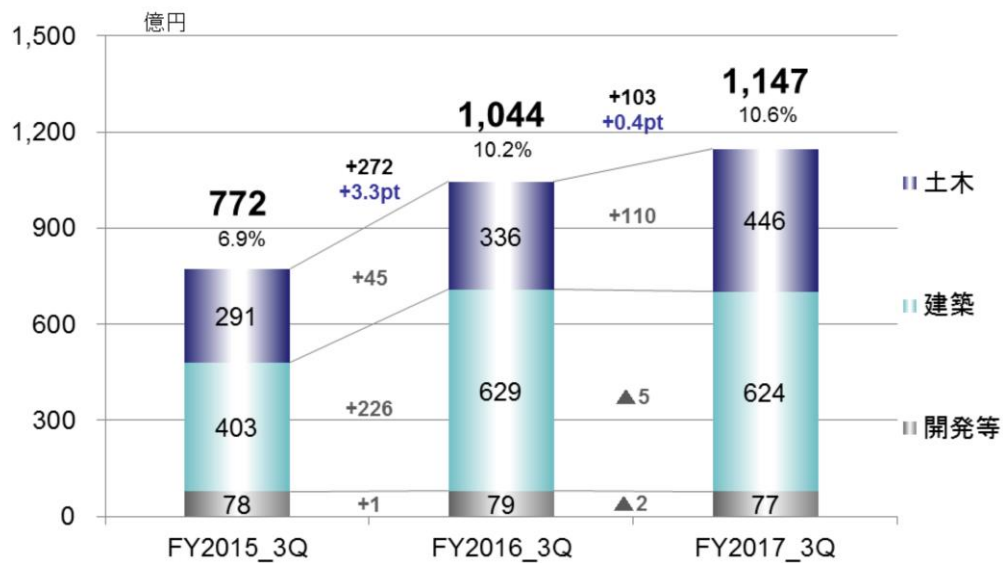
8

〔単体〕 前期並み

〔連結〕 子会社等も前期並みとなり、連結全体で前期並み

営業利益（第3四半期）

〔連結〕

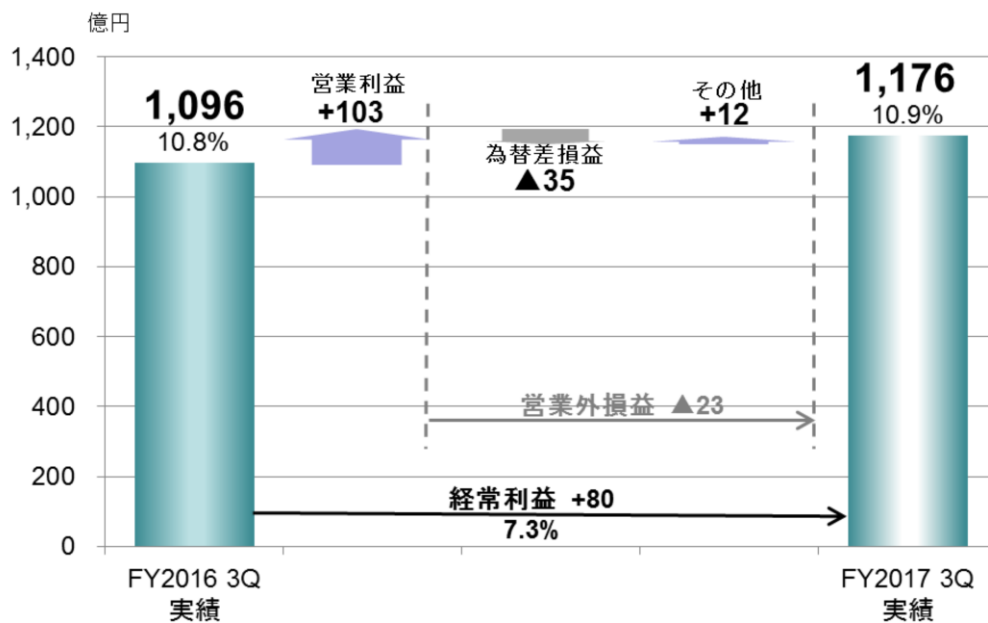


9

- ✓ 売上総利益の増加により営業増益

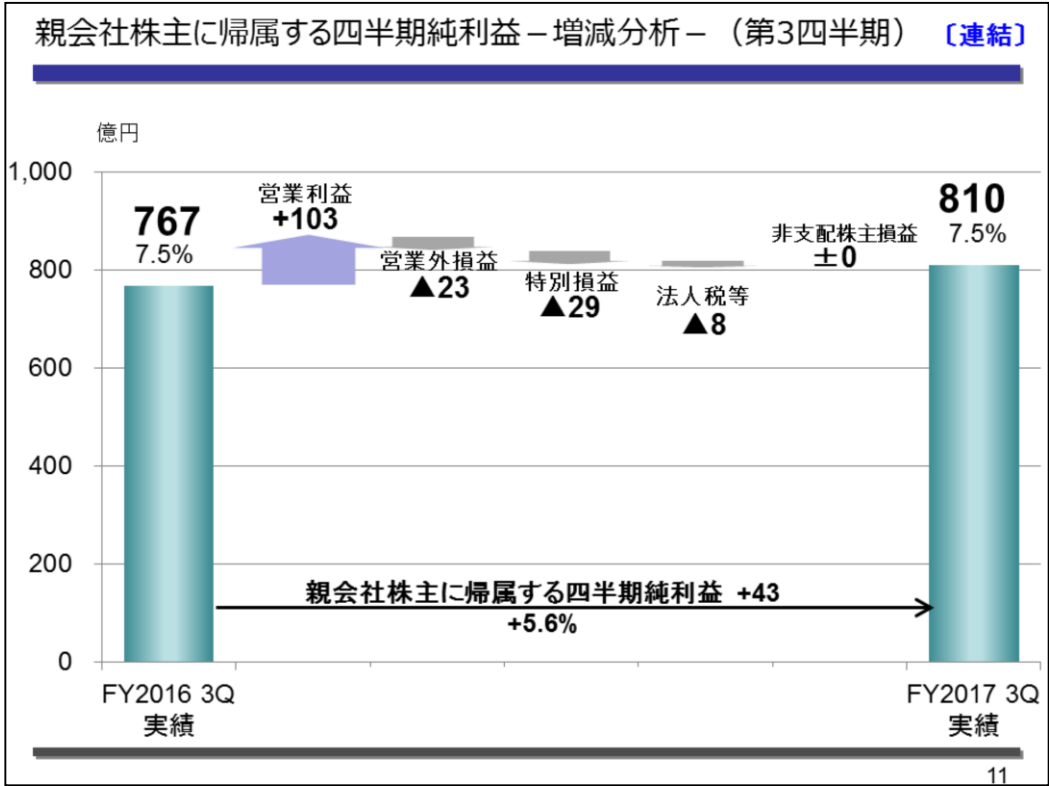
経常利益 –増減分析–（第3四半期）

[\[連結\]](#)



10

- ✓ 為替差損益の悪化などにより営業外損益が悪化したものの、営業増益により経常増益



- ✓ 投資有価証券売却益の減少などにより特別損益が悪化したものの、経常増益により、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益